

## 社会福祉士現場実習における実習評価に見る課題

— 調査を基に —

○ 文教大学 長屋 美穂子 (3499)

キーワード：実習評価 実習指導者 実習生

## 1. 研究目的

社会福祉士現場実習の教育内容の改正が行われ3年が経過した。実習指導者は研修内容にそって熱心に指導していただいている。当養成校としても真剣に取り組んでいる中、相談援助者としてのあり方を見るには様々な方法が考えられるが、今回は現場実習での評価に注目した。

本研究は、実習指導者から見た実習生に対する評価、そして実習生の自己評価から学内指導の課題について検討する。

## 2. 研究の視点および方法

実習生に対して実習前に面談を数回行っているが、実習を待ち望んでいる人・資格は欲しいが実習を行うことが不安な人など様々なタイプの実習生がいる。問題を抱えている実習生は数回の学内指導を受けた後現場実習に入る。実習中は巡回訪問時や帰校時に面談を受けることで個人差はあるものの実習生は実習前より成長したように感じるが、事前の学内指導の課題検討のため、現場実習における基本的な事柄についてアンケート用紙による調査を実施した。

アンケート用紙による調査事項は下記の通り

- ・調査時期 平成24・25・26年（各9月～11月）
- ・調査方法 実習指導者に対してはアンケート調査用紙を送付し記入後返送していただく  
実習生に対しては実習終了後手渡し、2週間以内に回収
- ・調査内容 実習指導者・実習生とも同じ15項目で5段階にて評価

調査の15項目の評価内容と5段階の内容を以下に示す

[15項目の評価内容]

- ①第一印象 ②礼儀（挨拶） ③言葉づかい ④服装・身だしなみ（髪も含む）
- ⑤仕事上の責任感 ⑥積極性・自主性 ⑦根気 ⑧思いやり ⑨公共に尽くす精神
- ⑩事前学習の程度 ⑪実習ノートの書き方 ⑫指導の受け方の態度
- ⑬職員の方に対する態度 ⑭利用者の方に対する態度 ⑮福祉関係の職業適応度

[5段階の内容]

- 5 大変良い 4 だいたい良い 3 何とも言えない 2 あまり良くない 1 全く良くない

## 3. 倫理的配慮

調査協力者に対して、調査への協力は任意であること、得られたデータについては個人情報を開示しないという説明のもと協力を依頼し、研究倫理指針に則って研究を行った。

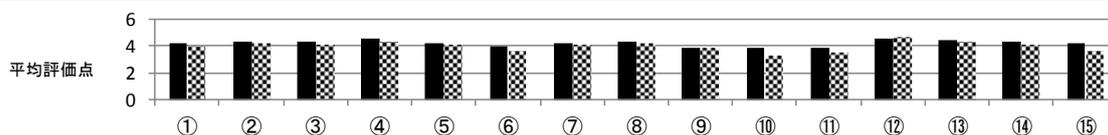
### 4. 研究結果

下記の表・図は、平成24・25・26年毎に全評価内容を5段階評価されたものを、実習指導者・実習生双方の比較を示す。

3年連続で行ったが、各年において若干の特徴が見られる。平成24年において1項目以外は実習生より実習指導者の方が高く評価しているが、年毎に変化し、平成26年は7項目において実習指導者より実習生の方が高く評価している。3年とも、実習指導者・実習生双方が⑫指導の受け方の態度を高く評価し平均評価は約4.6である。実習生の自己評価が特に低い項目⑥積極性・自主性 ⑩事前学習の程度 ⑪実習ノートの書き方⑮福祉関係の職業適応度4項目について、実習指導者は実習生の自己評価に対して、項目により差はあるが0.34～0.91高く評価している。

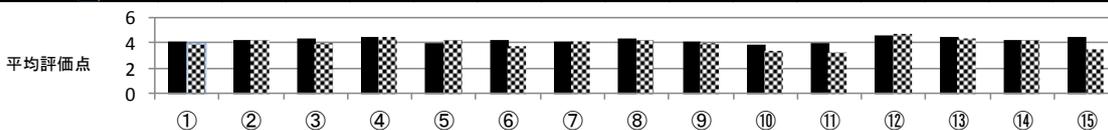
指導者・実習生(H24)

評価項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
指導者	4.3	4.4	4.3	4.6	4.2	4.0	4.2	4.3	3.9	3.9	3.9	4.6	4.4	4.3	4.3
実習生	3.9	4.1	4.0	4.3	4.0	3.6	4.0	4.1	3.8	3.2	3.4	4.6	4.3	4.1	3.6



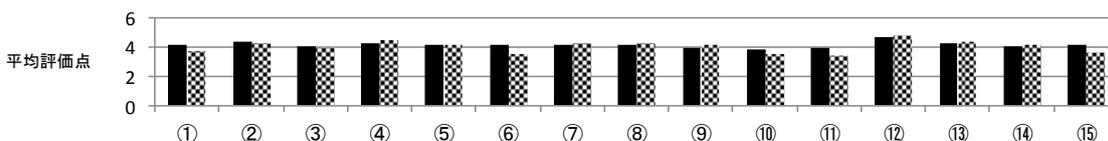
指導者・実習生(H25)

評価項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
指導者	4.1	4.2	4.4	4.4	4.0	4.2	4.1	4.3	4.0	3.9	3.9	4.6	4.4	4.2	4.4
実習生	3.9	4.2	4.0	4.4	4.2	3.7	4.1	4.1	4.0	3.4	3.3	4.6	4.3	4.2	3.5



指導者・実習生(H26)

評価項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
指導者	4.1	4.4	4.1	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	3.9	3.8	3.9	4.6	4.2	4.1	4.1
実習生	3.7	4.2	3.9	4.4	4.1	3.5	4.2	4.2	4.1	3.5	3.4	4.7	4.3	4.2	3.6



### 5. 考察

調査において、実習生の自己評価が特に低い項目⑥積極性・自主性 ⑩事前学習の程度 ⑪実習ノートの書き方 ⑮福祉従事者適応度については、問題解消のため実習前の学内指導内容を見直し、実習指導者と密に連絡を取りあうことが、双方の評価を上げることになるとと思われる。現場実習での貴重な体験は、実習生自身が自己を見つめる絶好の機会となり、実習後の実習生は、個人差があるものの、自信に満ちた表情をしているように見える。また、実習生の聞き取り調査から、実習生が満足できなかったことについては自ら反省することが、将来の動機づけにつながると考えられる。社会での体験は、大きな学習効果を上げていると想定できる。

(詳細資料配布予定)